

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
 - 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 - 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 - 定時株主総会 毎年6月
 - 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- [手続き書類のご請求方法] 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料)
インターネットによるダウンロード <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第1部
 - 公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6412/6412.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式等の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社等)を経由してお届出いただいております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。


当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。




- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に「闘魂ダイアリー」を進呈させていただきます。


 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6412**

いいかぶ

 空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



 ※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



HEIWA INTERIM BUSINESS REPORT 2013

第45期 中間報告書 2012.04.01~2012.09.30





遊技機事業、ゴルフ事業を両輪とする 総合レジャー企業を目指し、 企業価値の持続的成長を 追求いたします。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社グループの第45期第2四半期(2012年4月1日～2012年9月30日)
の事業の概況と決算についてご報告いたします。

代表取締役社長 **嶺井 勝也**

Q1 当第2四半期の業績および 事業環境はいかがでしたか?

A1 遊技機業界においては、パチンコホールにおけるパチンコ機の稼働が伸び悩んでおり、パチンコ機の設置台数は減少傾向にあります。一方で、パチスロ機においては稼働が引き続き堅調に推移しており、設置台数は増加傾向で推移しております。そのため、遊技機の入替においても稼働が低迷しているパチンコ機からパチスロ機へ需要がシフトしている状況にあります。

ゴルフ業界においては、ゴルフ場来場者数は震災の影響による大きな落ち込みから順調に回復しつつあります。しかしながら、

ゴルフ場料金は長引くデフレの影響を受け下降トレンドにあり、引き続き厳しい環境で推移しております。

このような環境の中、遊技機事業においては、市場のトレンド変化に迅速な対応をするための開発体制の構築、映像クオリティの向上や演出面の作り込みを図るなど、パチンコホールにおいて長期的な稼働が見込めるエンターテインメント性の高い遊技機の開発に取り組んでまいりました。

ゴルフ事業においては、顧客ロイヤルティの向上とゴルフ場オペレーションの効率化を目的とした様々な施策を推進いたしました。

その結果、当第2四半期の業績は、売上高93,703百万円、営

2013年3月期連結業績予想

(単位:百万円)

	2013年3月期第2四半期(実績)		2013年3月期(予想)	
		前年同期比		前期比
売上高	93,703	109.3%増	166,900	75.5%増
営業利益	21,346	40.4%増	33,800	63.0%増
経常利益	24,585	22.4%増	35,700	26.2%増
四半期(当期)純利益	16,835	24.5%増	23,300	13.6%増

業利益21,346百万円、経常利益24,585百万円、四半期純利益16,835百万円となり、当初予想を上回る結果となりました。

Q2 通期の見通しについて お聞かせください。

A2 通期の業績は、売上高166,900百万円、営業利益33,800百万円、経常利益35,700百万円、当期純利益23,300百万円を見込んでおります。

遊技機事業においては、引き続き稼働を重視した遊技機開発に取り組み、販売台数目標の達成を目指してまいります。なお、下期の遊技機の販売状況は、第3四半期に当社の大型コンテンツであるアントニオ猪木をモチーフとしたパチンコ機「アントニ

オ猪木という名のパチンコ機 やれるのか、本当にお前」を発売し、好調な滑り出しとなっております。

ゴルフ事業においては、ゴルフ参加人口の減少や、デフレの影響による顧客単価の下落傾向が継続しており、引き続き厳しい環境が続くことが予想されますが、お客様へ質の高いサービスの提供を行うとともに、コースクオリティの向上に努め、ゴルフ場来場者数の増加とゴルフ場収益の改善を図ってまいります。

なお、当期の中間配当は、安定配当の基本方針のもと、1株につき30円とさせていただきます。通期では1株につき60円(うち期末配当金30円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



遊技機事業 売上高 **52,264** 百万円
営業利益 **15,571** 百万円

パチンコ機「ルパン三世 World is mine」シリーズの
販売が好調に推移し、遊技機の総販売台数は
161千台(前年同期比15千台増)となりました。

遊技機市場におきましては、パチンコホールは、低貸玉営業の定着やパチンコ機の稼働低迷による収益性の低下により、安定した稼働が期待できる遊技機を厳選して導入する傾向をさらに強めており、各遊技機メーカー間の販売競争は厳しさを増しております。

そのような環境下、遊技機事業におきましては、パチンコ機「ルパン三世 World is mine」、「麻雀物語 麗しのテンパイ乙女」、「シティーハンター 合言葉はXYZ」等を発売し、販売台数138千台となりました。パチスロ機は「ねえーねえー島娘」、「めぞん一刻 夏色の風と」を発売し、販売台数23千台となりました。

以上の結果、売上高52,264百万円、営業利益15,571百万円となりました。

■ 2013年3月期 遊技機販売台数計画

当第2四半期の販売実績及び今後の市場環境等を勘案した結果、通期の販売台数計画をパチンコ機244千台(当初予想200千台)、パチスロ機46千台(当初予想90千台)に見直しております。なお、本販売計画の見直しに伴う、2013年3月期通期の業績予想数値の修正はありません。	第2四半期(実績)	通期計画
パチンコ機	138千台	244千台
パチスロ機	23千台	46千台

※千台未満切捨て

NEW MACHINE

ルパン三世 World is mine

「ルパン三世」シリーズの最新作。ダ・ヴィンチの隠したお宝をめぐる、ルパン一味と謎の傭兵集団との激しい争奪戦がシリーズ最大のスケールで繰り広げられます。



©モンキー・パンチ/TMS・NTV



©高橋留美子/小学館

めぞん一刻 夏色の風と

高橋留美子の人気コミックがパチスロに。音無響子と五代裕作のラブロマンスを原作に忠実に再現!「ドラマチックタイム」や「ウェディングモード」など多彩なゲーム性を備えています。



ゴルフ事業 売上高 **40,002** 百万円
営業利益 **7,542** 百万円

主要施策であるWeb予約の増加
及びポイント制度の改善を着実に実施することで、
お客様満足度の向上に努めました。

ゴルフ事業におきましては、2012年4月にPGM公式サイト予約画面の刷新、及びYahoo!ポイント付与によるポイント制度の改善を実施し、Web予約数は順調に推移いたしました。また、9月には新たに株式会社Tポイント・ジャパンとのポイントプログラム提携の協議を開始することで、よりお客様満足度向上に努めてまいります。

以上の結果、売上高40,002百万円、営業利益7,542百万円となりました。

TOPICS

PGMホールディングス(株)がゴルフ場運営会社最大手
(株)アコーディア・ゴルフ株式に対する公開買付を実施 ▼公開買付の概要(公表日 2012年11月15日)
買付期間:2012年11月16日~2013年1月17日 取得価格:普通株式1株につき 81,000円
買付条件:上限 524,105株(株式所有割合50.1%) / 下限 209,224株(株式所有割合20.0%)

「Tポイント」を運営する株式会社Tポイント・ジャパンと
ポイントプログラム提携の協議を開始

日本最大の共通ポイントサービス「Tポイント」を運営する株式会社Tポイント・ジャパンとポイントプログラムの提携に向けた協議を開始いたしました。新ポイントプログラムは詳細が決まり次第PGMオフィシャルウェブサイト等にてお知らせいたします。



PGMオフィシャルウェブサイト <http://pacificgolf.co.jp/>

PGM韓国オフィス
(韓国国内連絡事務所)を開設

2012年5月、韓国におけるPGMゴルフ場の知名度向上を目指し、韓国のソウル市江南区に韓国国内連絡事務所を開設。韓国国内でPGMゴルフ場の広告、宣伝、市場調査を実施することで、韓国からの訪日ゴルファー受け入れを強化いたします。



その他 売上高 **1,436** 百万円
営業利益 **105** 百万円

情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を行いました。

開発スタッフ座談会

シリーズ10周年を記念して誕生した『アントニオ猪木という名のパチンコ機～やれるのか、本当にお前～』



2003年1月に『アントニオ猪木という名のパチスロ機』がホールに登場したのを皮切りに、「アントニオ猪木」シリーズはパチンコ機3作、パチスロ機4作が発表され、人気シリーズとして多くのファンの心をつかんできました。

そして2012年11月、シリーズ10周年記念機種として発表された『アントニオ猪木という名のパチンコ機～やれるのか、本当にお前～』が今、大きな注目を集めています。

今回はこの『アントニオ猪木という名のパチンコ機～やれるのか、本当にお前～』開発スタッフに集まっていただき、開発時のエピソードを語っていただきました。

— 開発にあたり、どんな思いをもっていましたか？

小川 ■ 本作は10周年記念機種ということもあり、開発当初から社内外の期待も大きいものがありました。私は前作も担当していたのですが、どうすれば前作を超える機種をつくることができるかが最大の課題となりました。

山口 ■ 「アントニオ猪木」シリーズは当社の看板機種ですので、あまり冒険はしない方がいいという声も一部にはあったのですが、看板機種だからこそパチンコ機全体に影響を与えられるものをつくるべきじゃないかという思いはありました。



プロジェクトリーダー
小川 進



企画担当
山口 貴弘



ゲージ担当
山田 周史



映像企画担当
島山 智広



盤面デザイン担当
南原 和浩

南原 ■ これまでのシリーズで培われたコミカル&プロレスというイメージは踏襲しつつも、さらにインパクトのある新しいものを盛り込まなければなりません。

島山 ■ 人気シリーズということで、それぞれプレッシャーはあったと思いますが、前作を超えたい、エポックメイキングな機種をつくりたいという気持ちはスタッフ全員が持っていたんじゃないでしょうか。

— 開発時に力を注いだ部分はどこですか？

小川 ■ 開発はまずコンセプトを決めるところからスタートするのですが、そこでは本作のポイントをどうするかが検討されます。

山口 ■ その結果、軸となるコンセプトは大当たり時の気持ちよさと出玉感にこだわっていくことになったんですね。

山田 ■ プレイヤーとパチンコホールの双方に満足していた

きつつ、出玉感のある機械を開発するためにはゲージがカギとなります。これは過去に前例のないところからの挑戦となりました。

南原 ■ もちろん本作の特長はそれだけではありません。本作には当社ではじめて15インチ液晶が搭載されています。近年のパチンコ機は大当たりの期待を演出する可動役物が重要になっているのですが、限られた盤面の中に大きな液晶と黄金顔面ギミックをはじめとした多彩な可動役物をいかに収めるかに苦心しました。

山田 ■ その分ゲージのスペースも少なくなってしまいましたが、それがかえて私のチャレンジ精神に火をつけましたね。

山口 ■ 演出面では通常時にいかに楽しくプレイしてもらうかが課題でした。その課題をクリアするために、通常時に交わされるアントニオ猪木さんとラウンドガールの会話を1万パターンも搭載したんですよ。

小川 ■ 音声収録の時には実際にアントニオ猪木さんにお会いしたのですが、本当にいい方で、結構赤面してしまうような台詞もニコニコしながら引き受けてくれました(笑)。

畠山 ■ 今回ムービーは2Dと3Dが搭載されているのですが、3Dではモーション・キャプチャーという技術を導入し、実際の人間の動きを取り込んでいます。これによってとてもリアルな動きを実現することができました。

— 最後に本作の魅力について聞かせてください。

畠山 ■ スタン・ハンセンやブッチャーなど、前作には登場しなかった往年の名レスラーが美しいグラフィックで登場します。

南原 ■ 液晶と黄金顔面ギミックが連動した演出は、プロレスに詳しい方にもそうでない方にも、きっと満足してもらえると思います。

山田 ■ 今までにないゲーじ構成もぜひ注目してみてください。

山口 ■ 2400発の出玉が体感できる「道BONUS」はもちろん、随所に開発スタッフそれぞれの細かいこだわりが詰まったパチンコ機ができました。

小川 ■ コラボ10周年記念サイト「HEIWA×INOKI」では、これまでの「アントニオ猪木」シリーズの歴史や、本作の詳しい情報が掲載されています。こちらをご覧ください。ただけるとさらに楽しさがアップすると思います。



● 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

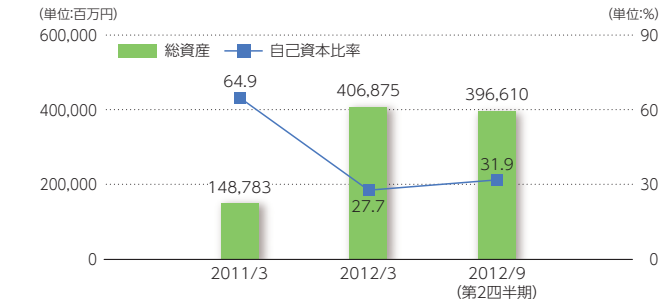
科目	2012年3月期 (2012年3月31日現在)	2013年3月期第2四半期 (2012年9月30日現在)
■ 資産の部		
流動資産	126,560	114,244
固定資産	280,315	282,365
有形固定資産	245,155	246,241
無形固定資産	3,854	3,931
投資その他の資産	31,305	32,192
資産合計	406,875	396,610
■ 負債の部		
流動負債	72,062	65,631
固定負債	209,987	191,679
負債合計	282,049	257,310
■ 純資産の部		
株主資本	111,834	125,762
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,074	53,082
利益剰余金	57,807	71,655
自己株式	△15,802	△15,729
その他の包括利益累計額	957	750
新株予約権	240	123
少数株主持分	11,793	12,663
純資産合計	124,826	139,299
負債純資産合計	406,875	396,610

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

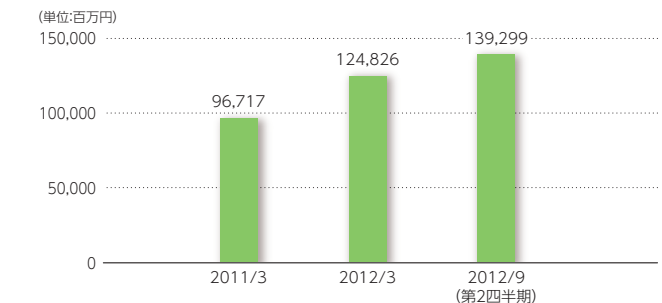
(単位:百万円)

科目	2012年3月期第2四半期 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)	2013年3月期第2四半期 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,421	18,466
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,007	△6,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,120	△20,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,706	△8,600
現金及び現金同等物の期首残高	42,406	36,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,700	27,666

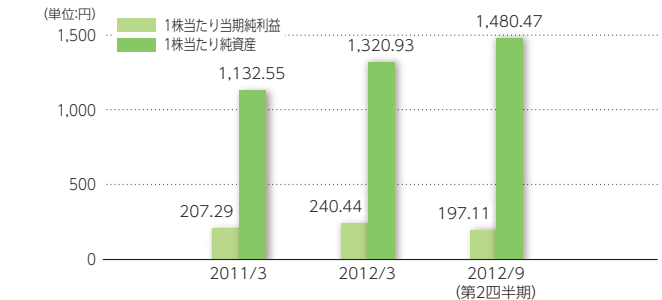
□ 総資産/自己資本比率



□ 純資産



□ 1株当たり当期純利益/1株当たり純資産



● 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

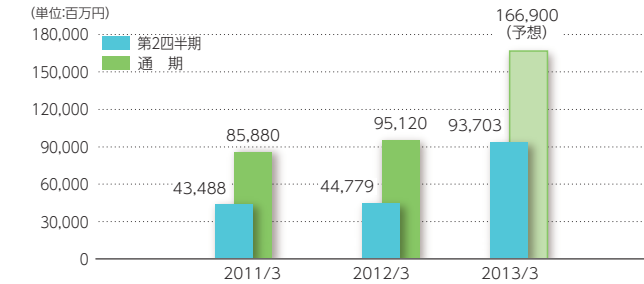
科目	2012年3月期第2四半期 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)	2013年3月期第2四半期 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)
Point▶ 売上高	44,779	93,703
売上原価	19,001	57,989
売上総利益	25,778	35,713
販売費及び一般管理費	10,579	14,367
Point▶ 営業利益	15,198	21,346
営業外収益	5,122	4,937
営業外費用	241	1,698
経常利益	20,079	24,585
特別利益	0	342
特別損失	18	11
税金等調整前四半期純利益	20,061	24,916
法人税等	6,535	7,209
少数株主損益調整前四半期純利益	13,525	17,706
少数株主利益	-	871
四半期純利益	13,525	16,835

Point 売上高・営業利益

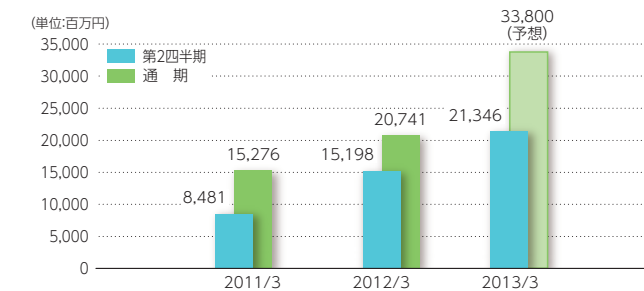
当社の主力事業である遊技機事業において、大型タイトルを投入したパチンコ機の販売が好調に推移し、業績を牽引いたしました。

また、2011年12月にPGMホールディングス(株)の株式を取得し連結子会社化したことにより、前年同期に比べ売上高、営業利益ともに大幅に増加いたしました。

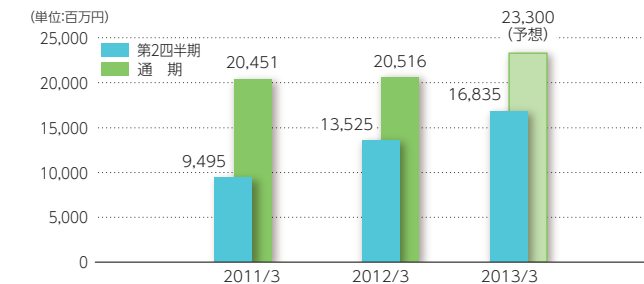
□ 売上高



□ 営業利益



□ 四半期(当期)純利益



● 会社概要

商号 株式会社 平和
(英文社名:Heiwa Corporation)

本社 〒110-0015
東京都台東区東上野二丁目22番9号

URL <http://www.heiwanet.co.jp/>

創業 1949(昭和24)年

設立 1960(昭和35)年

資本金 167億5,500万円

役員
代表取締役社長 嶺井 勝也
代表取締役副社長 諸見里 敏啓
取締役 吉野 敏男
取締役 池本 泰章
取締役 太田 裕
取締役 兼次 民喜
常勤監査役 川野 廣二
監査役 佐藤 武志
監査役 遠藤 明哲

事業内容 パチンコ機の開発・製造・販売
パチスロ機の開発・製造・販売

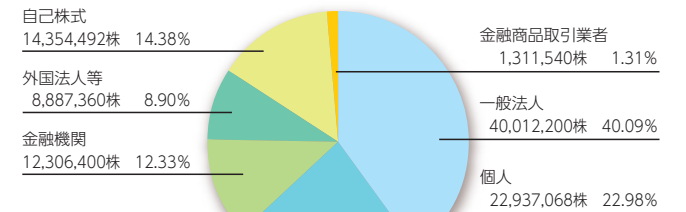
事業所 本社、工場(伊勢崎)、北海道、仙台、高崎、東京、名古屋、大阪、広島、福岡 他20営業所

取引銀行 みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行

● 株式の状況

発行可能株式総数 228,903,400株
発行済株式の総数 99,809,060株
株主数 13,574名

● 株式の所有者別状況



● 株価チャート(月足)

